

# ゴーハッス 速報

Goheads

第29号 平成23年9月1日

6回のピンチを守備陣一体で防ぐ！

梶原の一打が接戦を制す！



	1	2	3	4	5	6	7	R
P	0	1	2	0	0	0		3
G	1	1	2	0	0	1		5

9/1 (土) 今期4戦目となる、KSC予選リーグを新杉田公園野球場に出向き、PIOLAX戦を行った。今年のシーズン当初に昨年度の決勝を行い、その際には、林が打ち込まれ敗戦を喫しただけに、今日は、その仮を帰す為にも、林がマウンドに上がり、今日の勝利を目指した。初回は、三社凡退に斬り上々の立ち上がり。その裏の攻撃、先頭が死球で出塁、その後二盗を決め、早くも先制の場面、ここで、二番哲也が中越の2ベースを放ち、セカンドより一塁ホームインを目指したが、相手の連携により、惜しくもホームタッチアウト。後続の内野ゴロの間に哲也は進塁、祐太朗が打った打球は、ショートゴロ、この打球が相手守備の失策を呼び、この間にホームインし、先制点を挙げた。二回の相手攻撃、先頭の4番にレフトオーバーの2ベースを放たれ、今度は場面はピンチと変わった。しかし、後続二人をアウトにした、ものの、その間にWPが有り、二死三塁の場面、そして討ち取った打球は二ゴロ、ピンチは脱したかと思った瞬間エラーが起こり、あっさり同点となった。が、この走者の盗塁したい感を林が見抜き、一塁で牽制死とし最小失点の1点で抑えた。同点とされたその裏の攻撃、先頭は今期末に調子が上がらない深沢、しかし粘りを見せ6球目を右中間に運び2ベースで出塁、そして、梶原の三塁ゴロでサードへ進塁を試みたが、一塁への送球の前に動き始めたので、挟殺プレーとなつたが、運良くアウトにならなかつた事で無死一・二塁となつた。後続の三塁ゴロの間に走者が入れ替わり一死一・二塁、そして次打者に出されたサインは送りバント、きっちり決めた林の送りバントが相手守備の乱れを呼び、三塁を回った走者がホームインし、またまた逆転とした。が、今日のゲームは取つたり、取られたり・・・ 翌3回表の攻撃、二死後、連続安打・四球、そしてまたもや安打を喫し逆転をされた。いつもなら流れが動く場面だが、これは野球、ピンチの後にチャンスが訪れた。先頭のたかあきが相手失策で出塁すると迷わず一気に二塁を陥れた。続く祐太朗がきっちり三遊間安打でたかあきを迎え入れ同点、更に盗塁を決め、後続は今日二度目の三振で一死を喫したが、続く深沢が四球で出塁、そして梶原が初球を迷わず振り抜き、祐太朗を二塁から迎え入れ、逆転に成功した。このままゲームは進み、5回で林がマウンドを降り、二番手として政司がマウンドに上がつた。最終回6回の攻撃、先頭を三塁ゴロに討ち取るも失策により出塁を許す、次打者には四球を与え、無死一・二塁と場面はピンチと化した。リードは最小の1点、が、ここで、投手を含め守備陣が一体感を見せた。続く打者を投飛に打ち取り、続く打者を三ゴロ、そして次打者の詰つたセカンドゴロを哲也が一塁へ送球し、このピンチを0点に抑えた。時間が有つた事から、次の回に進むべき裏の攻撃に入る。ピンチを抑えた政司が二遊間安打で出塁、そして今期初盗塁を決めると、相手送球エラーの間に一気に三塁へ進塁、そして三番たかあきがきっちり中前に運び、政司を迎えた。 今日のゲームを振り返るとキーワードは「大事に！」かも知れない。

1. 守備 2. 走塁 3. 判断 何れも積極的に行なうが故に発生してしまった内容であろう。が、場面によっては流れが動く、はたまたベンチのムードの沈滞、そして結果敗戦に繋がる負の連鎖で有る事から、もう少し、各々を大事に考えプレーしたいと思う。まだまだ残暑が続くが今日のベンチは、きびきびとしており、前節と異なるゲームが出来た事、そしてシーソーなゲームを手中に出来た事は、今後の戦いに繋がる筈。まだ見ぬ相手との戦いの為にも、一戦一線考え、チームとしてプレーし、その結果を勝利に繋げよう！